

満60歳以上の方のための住宅融資保険付きリバースモーゲージ型住宅ローン
【リ・バース60】の利用実績等について
(2022年4月～6月分)

独立行政法人住宅金融支援機構（本店：東京都文京区後楽1-4-10、理事長：毛利 信二）が実施する住宅融資保険を活用したリバースモーゲージ型住宅ローン（愛称：【リ・バース60】）の2022年4月から6月までの期間の利用実績等についてお知らせします。

■【リ・バース60】の利用実績

| | ① 2022年 4月～6月 | ② 2021年 4月～6月 | 対前年同期比 (①/②) | 【参考】 | |
|-------------------|------------------|------------------|-----------------|------------------|---------------|
| | | | | ③ 2022年 1月～3月 | 対前期比 (①/③) |
| 付保申請戸数 | 428戸 | 356戸 | 120.2% | 416戸 | 102.9% |
| 付保実績戸数 | 315戸 | 243戸 | 129.6% | 369戸 | 85.4% |
| 付保実績金額 | 46.3億円 | 33.8億円 | 136.9% | 54.1億円 | 85.6% |
| 取扱金融機関数 (期末累計) | 81機関 | 73機関 | 111.0% | 80機関 | 101.3% |

(注) 付保申請：住宅融資保険を付保するために、事前に取扱金融機関から機構に申請があったもの
(速報値であるため、過去の申請戸数を修正することがあります。)

付保実績：融資が実行され、住宅融資保険が付保されたもの

(お客さまが取扱金融機関にローンの借入申込みを行った後に付保申請が行われますが、融資が実行され、付保実績が計上されるまでに一定のタイムラグが生じることがあります。)

■【リ・バース60】の借入申込者の利用実態（2022年4月～6月に付保申請のあった案件）

| 項目 | 2022年4月～6月付保申請分に係る平均値または割合 |
|------------------------|---|
| 申込者属性（平均） | 年齢：70歳、年収：369万円 |
| 申込者属性（割合） | 年金受給者（57.0%）、会社員（22.4%）、個人経営（6.8%）、会社役員（5.6%）、パート・アルバイト（4.7%）ほか |
| 資金使途（割合） | 注文住宅（31.8%）、新築マンション（21.5%）、借換え（20.3%）、戸建リフォーム（18.7%）、中古マンション（5.1%）ほか |
| 資金計画（平均） | 所要額：2,868万円、融資額：1,613万円、毎月支払額：3.5万円 |
| 利用地域（割合） | 神奈川県（12.9%）、東京都（11.0%）、大阪府（10.3%）、兵庫県（8.4%）、埼玉県（7.9%）、千葉県（5.8%）、広島県（4.0%）ほか |
| 住宅または住宅ローンを必要とする理由（割合） | 住宅が古い（42.5%）、借換え（20.1%）、住み替え（19.4%）ほか |
| 利用タイプ（割合） | ノンリコース型（99.3%）、リコース型（0.7%） |

■【リ・バース60】の取扱金融機関

取扱金融機関については、機構ホームページをご覧ください。

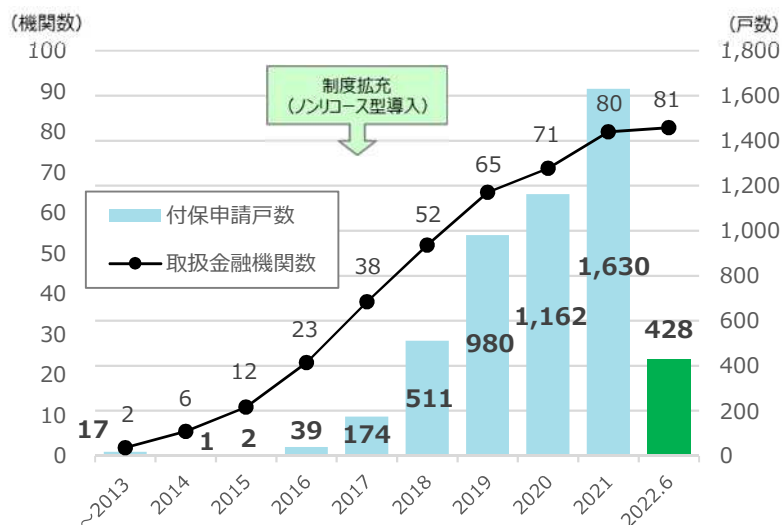
https://www.jhf.go.jp/loan/yushi/info/yushihoken_revmo/kinyukikan.html

本リリースに関するお問い合わせ先

住宅金融支援機構 経営企画部広報グループ 西村/谷山/永田/泉井/濱野 TEL 03-5800-8019

住宅金融支援機構ホームページ <https://www.jhf.go.jp/>

■【リ・バース60】の付保申請戸数等の推移（2022年6月末現在）



■業態別の取扱金融機関数

| | |
|-----------|------|
| 都銀・信託銀等 | 8機関 |
| 地銀 | 28機関 |
| 第二地銀 | 14機関 |
| 信金・信組 | 24機関 |
| 労働金庫 | 3機関 |
| モーゲージバンク等 | 4機関 |
| 計 | 81機関 |

■【リ・バース60】の特徴（※1）

- 住宅金融支援機構の住宅融資保険を活用した金融機関によるリバースモーゲージ型の住宅ローン
- 満60歳以上のお客さまが利用可能（※2）
- 毎月のお支払は利息のみで、元金は、お客さまが亡くなられたときに、相続人の方から自己資金等により一括してご返済いただくか、担保物件（住宅および土地）の売却代金（※3）によりご返済いただく住宅ローン
- 住宅の建設（建て替え）、マンション・戸建住宅の購入（住み替え）、リフォーム、住宅ローンの借換え、セカンドハウスの建設・購入、サービス付き高齢者向け住宅の入居一時金、子世帯等が居住する住宅の取得のための資金といった様々な住宅資金に利用が可能（生活資金や投資用物件の取得資金は対象外）
- 融資限度額は、担保評価額（住宅および土地）の50%または60%（※4）。ただし、8,000万円以下で、所要資金以内。

※1 ご利用いただけるお客さまの年齢、資金の使いみち、ご融資の限度額、ノンリコース型およびリコース型の取扱い、融資金利、金利タイプ、取扱可能エリア、取扱金融機関における商品名称その他の商品内容は、金融機関ごとに異なります。詳しくは、次の機構ホームページをご参照ください。

https://www.jhf.go.jp/loan/yushi/info/yushihoken_revmo/index.html

※2 満50歳以上満60歳未満のお客さまもご利用可能です。この場合、ご融資の限度額が異なります。

※3 ノンリコース型の場合、担保物件（住宅および土地）の売却代金が残債務に満たないときであっても、相続人の方が残った債務を返済する必要はありません。リコース型は残債務を返済する必要があります。

※4 お客さまの年齢が満50歳以上満60歳未満の場合は、「担保評価額の30%」となります。担保とする住宅（セカンドハウスを含みます。）が長期優良住宅の場合で、お客さまの年齢が満60歳以上のときは「担保評価額の55%または65%」となります。

<お客さまからのお問合せ先>

【リ・バース60】ダイヤル TEL:0120-9572-60

<住宅金融支援機構ホームページ>

60歳からの住宅ローン【リ・バース60】

https://www.jhf.go.jp/loan/yushi/info/yushihoken_revmo/index.html